

UNIT 5 子どもの言語発達

解答

- 1 (1 歳半頃の) 2 つの語を組み合わせる, テレグラフィック・スピーチと呼ばれる段階。
- 2 C
- 3 (1) (They speak) At about one (year of age).
(2) They make grammatically correct sentences.
- 4 b, c
- CHECK 1. dra·mát·ic 2. able 4. 「～を合わせる」 4. combine 10. simple
11. vo·cáb·u·lar·y 15. lít·er·a·ture 21. 「～を…に加える」

解説

- 1 前文の At about eighteen months, they begin putting ... telegraphic speech. を指す。
- 2 「この段階は『なぜ』『どうやって』と尋ねるために言葉を用いる質問段階です。」
[A]の前には, 2 歳頃の telegraphic speech 段階について述べられており, [B]の前文には, 3 歳までには今までより複雑な発話になり, 副詞や代名詞, 前置詞を用いると述べられており, [C]の前文には 4 歳までには文法的に正しい文を作ると述べられている。「なぜ」とか「どのように」などの疑問文は, この 3 つの段階では, 語数も多くなって文法的にも正しい文を使うようになる最後の段階と考えられる。
- 3 (1) ll. 2-3 の They usually speak ... one year of age. を参照。
(2) ll. 13-14 の By age four, ... correct sentences. を参照。
- 4 a. 「ほとんどの子どもは初めの数年で最初の言葉

- を話す。」 ll. 2-3 の They usually speak ... one year of age. に不一致。
- b. 「1 歳半の頃, 子どもは名詞や動詞を使い始める。」 ll. 3-7 の At about eighteen months, ... or pronouns. に一致。
- c. 「2 歳頃から, 子どもは急にますます多くの単語の組み合わせを使い始める。」 ll. 8-9 の The number of ... around age two. に一致。
- d. 「本は生徒たちの言語発達を助長する。」 ll. 15-16 の Literature and literature-related ... preschool children. を参照。school children ではなく preschool children とある。
- e. 「子どもは絵本で見るまで, 自分のからだの一部を認識できない。」言葉の発達に絵本が役に立つということは, 最終段落に述べられているが, 絵本を見るまで認識できないとは書かれていない。

語句・構文

- l. 1 dramatic 「めざましい」
- l. 1 change in ～ 「～の変化」
- l. 4 combination 「組み合わせ」
- l. 5 be made up of ～ 「～から成る」
- l. 5 mostly 「たいてい」
- l. 6 contain 「～を含む」
- l. 10 by 「～までには」
- l. 10 ～, when... 関係副詞の非制限用法。
- l. 11 vocabulary 「語彙 (ごい)」
- l. 15 literature 「文学 (作品)」
- l. 16 preschool 「就学前の」
- l. 17 help children use... help O do 「O が～

- するのに役立つ」 l. 22 の help them expand も同様。
- l. 17 help children use language to discover their world, name actions ... the wonders of language で, name, gain, enjoy は use と並列に用いられている (A, B, C, and D)。
- l. 17 name 「～に名前をつける」
- l. 18 object 「物」
- l. 18 gain 「～を手に入れる」
- l. 18 wonder 「不思議」

全訳

最初の数年間, 子どもはめざましい言語能力の変化を見せる。たいていの子どもは急速に言葉を学ぶ。たいてい 1 歳頃に最初の言葉を話す。1 歳半の頃, テレグラフィック・スピーチ (電報のような発話) と呼ばれる 2 語の組み合わせを作り始める。言葉の発達におけるこの段階の発話は, たいていは名詞や動詞, 形容詞から成り, 普通, 前置詞や冠詞, 代名詞を含んでいない。子どもが「きれいな花」とか「全部なくなったミルク」と言う

とき, 彼らはテレグラフィック・スピーチを使っている。異なった 2 語の組み合わせの数はゆっくと増え, それから 2 歳の頃, 急に増える。

言葉はたいてい 3 歳までにはより複雑になり, その頃にはたいていの子どもは語彙に副詞や代名詞, 前置詞を加えている。また子どもはこの言語発達段階では, 言葉の音で遊ぶことを楽しむ。4 歳までには文法的に正しい文を作る。この段階は「なぜ」「どうやって」と尋ねるために言葉を用いる質問段階だ。

文学作品や文学に関する経験は, 就学前の子どもの言語発達を助長することができる。家や図書館, 学校で本に触れることは, 子どもが世の中を知るのに言葉を用いたり, 行動や物に名前をつけたり, より複雑な言葉を身につけたり, 言葉の不思議さを楽しんだりするのに役立つ。多くの子どもが最初に経験する文学作品は, 絵本やマザーグースの歌や詩である。これらの本を子どもに読んでやったり, 絵について話をしたりするとき, 子どもは新しい単語を語彙に加える。絵本は彼らが語彙を増やすのに役立つ。たとえば, 手や他のからだの一部が何であるかちょうどわかりかけている子どもは, これらの部位を子ども向けの絵で見つけるかもしれない。

チャンク訳

- During their first few years, / children show dramatic changes / in language ability.
最初の数年間 / 子どもは劇的な変化を示す / 言語能力の
- Most children learn language very rapidly. They usually speak their first words
たいていの子どもは急速に言葉を学ぶ / 子どもは普通, 最初の言葉を話す
- / at about one year of age. At about eighteen months, / they begin putting words together
1 歳頃に / 1 歳半の頃 / 子どもは言葉を組み合わせ始める
- / in two-word combinations / called telegraphic speech. / Speech
2 語の組み合わせに / テレグラフィック・スピーチと呼ばれる / 発話
- / during this stage of language development / is made up mostly of nouns, verbs, and adjectives
言語発達におけるこの段階の / たいてい名詞, 動詞, 形容詞から成る
- / and usually contains no prepositions, articles, or pronouns.
そして普通, 前置詞, 冠詞, 代名詞を含まない
- When children say "pretty flower" or "all gone milk," / they are using telegraphic speech.
子どもが "pretty flower" や "all gone milk" と言うとき / 彼らはテレグラフィック・スピーチを使っている
- The number of different two-word combinations increases slowly, / then shows a sudden increase
異なる 2 語の組み合わせの数はゆっくと増え / それから急激な増加を示す
- / around age two.
2 歳頃に
- Speech usually becomes more complex / by age three,
言葉は普通, より複雑になる / 3 歳までに
- / when most children have added adverbs, pronouns, and prepositions / to their vocabularies.
その頃には, たいていの子どもは副詞, 代名詞, 前置詞を加えている / 語彙に
- Children also enjoy playing / with the sounds of words / at this stage of language development.
子どもはまた遊ぶことを楽しむ / 言葉の音で / 言語発達のこの段階で
- By age four, / they produce grammatically correct sentences. This stage is a questioning one
4 歳までに / 子どもは文法的に正しい文を作る / この段階は質問段階だ
- / during which language is used / to ask "why" and "how."
言葉が用いられる / 「なぜ」や「どうやって」を尋ねるために
- Literature and literature-related experiences can encourage language development
文学や文学に関する経験は言語発達を助長することができる
- / in preschool children. Book experiences / in the home, library, or school
就学前の子どもの / 読書経験は / 家, 図書館, 学校での
- / can help children / use language / to discover their world, / name actions and objects,
子どもが～するのに役立つ / 言葉を用いたり / 世の中を知るために / 行動や物に名前をつけたり
- / gain more complex speech, / and enjoy the wonders of language.
より複雑な発話を身につけたり / 言葉の不思議さを楽しんだり (するのに)
- Many children first experience literature / through picture books and Mother Goose songs and poems.
多くの子どもは最初に文学を体験する / 絵本やマザーグースの歌や詩を通して

When these books are read / to children / or the pictures are discussed,
これらの本が読まれるとき / 子どもに / または絵が論じられるとき

/ children add new words / to their vocabularies.
子どもは新しい言葉を加える / 語彙に

Picture books help them expand their vocabularies. For example, / children
絵本は子どもが語彙を増やすのに役立つ / たとえば / 子どもは

/ who are just learning to identify their hands and other parts of their bodies
手やからだの他の部位が何であるかをちょうど学びつつある

/ may recognize these parts / in pictures for children.
これらの部位を見つけるかもしれない / 子ども向けの絵の中に

動名詞

解答

1. b 2. a 3. d 4. a 5. b 6. d 7. b 8. d 9. b 10. c 11. d 12. a
 2. 1. Fishing 2. at teaching 3. repairing 4. my [me] smoking 5. How [What]
 6. On 7. without 8. my [me] paying 9. having got [having gotten]
 10. from going 11. use [good] trying
 3. 1. (I don't feel like going out) today.
 2. (There is a chance of your) winning the game.
 3. (He regrets having been idle) when he was a high school student.
 4. (Would you mind turning off the light [turning the light off])?
 5. Thank you (for not forgetting my birthday).

解説

1. 「その少年はさよならも言わずに出て行った。」
前置詞 **without** の後は名詞か動名詞がくるので **say** は動名詞 **saying** にする。
2. 「私はコンピュータでチャットを楽しんでいる。」
enjoy は目的語に動名詞をとる。目的語に動名詞をとる動詞は他に **finish, stop, mind, avoid, give up** などがある。
3. 「忘れずに私のかさを持って帰ってきてください。」
remember は目的語に不定詞と動名詞の両方をとる。**remember to do** 「～することを覚えている」(未来のこと), **remember -ing** 「～したことを覚えている」(過去のこと)
4. 「私は 10 歳のとき沖繩へ行ったことを覚えている。」
問題 3 参照。
5. 「医者には私に酒をたくさん飲むのをやめるように忠告した。」
stop 「～するのをやめる」は目的語に動名詞をとる。問題 2 参照。
6. 「私は来週ホストファミリーに会うのを楽しみにしている。」
look forward to -ing 「～するのを楽しみに待っている」**to** の後は動詞の原形ではなく、動名詞を用いる。
7. 「私はあの時うそを言ったことを恥じている。」
be ashamed of 「～を恥じている」前置詞 **of** の後に動名詞を用いるが、「恥じている」のは現在、「言った」のは過去のことであるため時間 [時制] のズレがある。従って動名詞は完了動名詞 (**having** + 過去分詞) を用いる。
8. 「私は子どものように扱われるのが嫌だ。」
like は目的語に動名詞、不定詞の両方をとる。本問の場合、**treat** の目的語がないので受動態になっていると考え、「**like being** + 過去分詞 (= **like to be** + 過去分詞)」を選ぶ。
9. 「その映画は 2 回見る価値がある。」
be worth -ing 「～する価値がある」

10. 「あなたはいい仕事に就くことができましたか。」
succeed in 「～に成功する」前置詞 **in** の後は動名詞を用いる。
11. 「寿司を食べることに慣れているアメリカ人は多い。」
be accustomed to -ing 「～することに慣れている」
12. 「あなたの失敗を残念に思わずにはいられない。」
can't help -ing 「～しないではいられない」
2. 1. 「アユ釣りはとても楽しい。」
動名詞が主語になる働きで「～することは」という意味。
2. 「佐藤さんは英語を教えるのが得意です。」
be good at 「～が得意だ」前置詞 **at** の後は **teach** を動名詞 **teaching** に変える。
3. 「私の車は修理をする必要がある。」
need -ing 「～する必要がある」= **My car needs to be repaired.**
4. 「タバコを吸ってもいいですか。」
mind 「気になる」は動名詞を目的語にとる。**Would you mind my [me] -ing?** 「～してもいいですか」
cf. **Would you mind -ing?** 「～してくれませんか」
5. 「休憩してはどうですか。」
How [What] about -ing? 「～してはどうですか」
6. 「空港に着くとすぐに私はホストファミリーに電話をした。」
on -ing 「～するとすぐに」
7. 「ゴルフをすると必ずいくつかゴルフボールをなくす。」
never [can't] ~ without -ing 「～すれば必ず…する」
8. 「彼は私にその支払いをするように強く求めた。」
insist の使い方は、① **insist that S (should) V**, ② **insist on -ing** である。前置詞 **on** の後は動詞 **pay** を動名詞に変える。また主語が **He** と **I** で異なるので **I** を **my [me]** に変え、動名詞の意味上の主語として **paying** の前に置く。
9. 「彼女は高得点を取ったことを自慢している。」
前置詞 **of** の後は動詞 **got** を動名詞に変える必要がある。ただしこの場合、動詞の時制が異なっているため (**is** と **got**)、**getting** ではなく **having got [having gotten]** と完了動名詞にする。
10. 「風邪はリーがコンサートへ行くのを妨げた (→風邪のためリーはコンサートへ行けなかった。)」
prevent A from -ing 「A が～するのを妨げる」
11. 「彼らを追い越そうとしてもむだです。」
It is no use [good] -ing 「～してもむだだ」
3. 1. **feel like -ing** 「～したい気分です」
2. 「～がある」は **There is** ～。前置詞 **of** の後は動名詞 **winning** を用いるが、「勝つ」の主体 (主語) は **there** ではなく **you** であるため主語が異なる。そのため動名詞の意味上の主語として **winning** の前に **your** または目的格の **you** を置く。
3. **regret** 「～を後悔する」は動名詞を目的語にとる。**regret -ing**, 「**regret having** + 過去分詞」のどちらの形でもよい。cf. **regret to do** 「残念ながら～する」
4. **Would you mind -ing?** 「～してくれませんか」、**turn off** 「～を消す」
5. **Thank you for** 「～をありがとう」前置詞 **for** の後なので動名詞 **forgetting** を用いる。また動名詞や不定詞を打ち消す場合、**not** はその直前に置く。